

「ふね遺産」（推薦様式）：A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	対象物：スカンジナビア号（旧ステラ・ポラリス） 所有者：なし ※ 串本沖に沈没した段階で、ペドロ・ファーストAB社（スウェーデン）は所有権を放棄したと推断される。	(別添) 海事技術史研究会誌 第25号、第3章「スカンジナビア沈没の謎」を参照
2. 対象物の作成・存在時期	対象物の作成： ベルゲンライン社（ノルウェー）発注 イエータ・ヴェルゲン造船所（スウェーデン）建造 存在時期： (ステラ・ポラリスとして) 1926年～1969年 (スカンジナビア号として) 1969年～2006年、以後海底に存在	
3. 現状 (写真添付)	2006年9月に和歌山県串本町の沖合約3km・水深72mの海底に沈没。原形をほぼとどめて現存する（2024年5月確認）。	   
		(2024年5月14日 合同会社スティングレイジャパン・スタッフにより撮影)
4. ふね遺産 認定基準の 該当項目(**)	【認定対象】4 【認定基準】8	
5. 歴史的・ 工学技術的意義	<ul style="list-style-type: none"> ■ 5,000トン級の船でありながら、ヨーロッパのロイヤル・ヨットの伝統をよく伝える秀麗なクルーズ船である。 ■ 第二次世界大戦の風雪に耐え、「七つの海の白い女王」と称えられて世界の海で活躍した。 ■ 我が国のレジャー産業（日本初のフローティング・ホテル兼レストラン）の創設と地域振興に多大な貢献をした。 ■ 世界的に貴重な船舶海洋文化遺産として、地域住民による自発的な保存運動を呼び起した。 ■ 日本で初めての「水中ふね遺産」の例となりうる。 ■ 2023年に沼津市により「ぬまづの宝100選」に選定された。 	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	① 伊藤、前島：「沼津市木負沖に係留されていたスカンジナビア（旧ステラ・ポラリス）の軌跡—日本の船舶海洋文化のあり様と継承に關連して」海事技術史研究会誌 第24号、2023年 ② 伊藤、前島：「秀麗な歴史的船スカンジナビア（旧ステラ・ポラリス）に魅せられて」前掲誌 第25号（掲載予定） ③ 継承保存資料 ④ ぬまづの宝100選公式ガイドブック (P5とP16に記載)	

(*) No. は学会で記載します。

(**) ふね遺産認定基準の【認定対象】と【認定基準】の項目の内、該当する最もふさわしい項目一つを、文頭の番号で記載して下さい。